



すべての人に最高の余暇を



個人投資家様向け会社説明会

フィールズ株式会社

2016年9月

【東証一部 2767】

INDEX

1. 知的財産（IP）による成長戦略

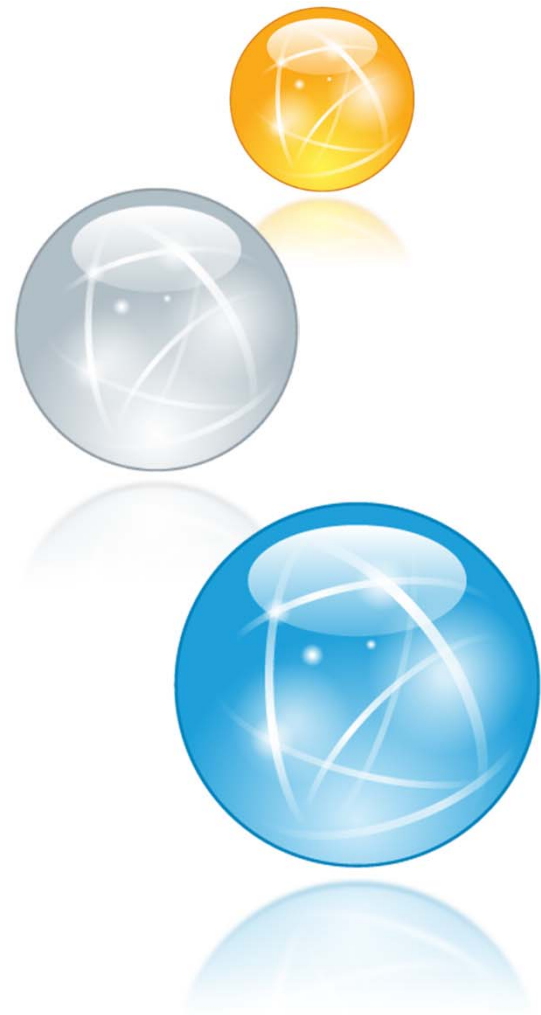
- P.03 会社概要
- P.04 当社沿革
- P.06 事業環境（国内）
- P.08 事業環境（海外）
- P.09 当社の成長戦略
- P.12 IPの展開例：ウルトラマンシリーズ
- P.15 IPの展開例：AKB48
- P.16 IPの展開例：月刊ヒーローズ
- P.17 IPの展開例：パチンコ・パチスロ

2. 業績推移

- P.21 業績推移
- P.22 配当金／配当性向推移

3. さいごに

- P.24 企業理念の現実へ
- P.25 ウルトラマン基金について



1. 知的財産（IP）による成長戦略

知的財産 = IP（Intellectual property）

企業理念『すべての人に最高の余暇を』

(2016年3月31日現在)

設立

1988年（昭和63年）6月

資本金

79億円

上場市場

東京証券取引所 市場第一部 / 証券コード 2767

事業内容

- 1) キャラクターなどのIPの企画開発、関連ビジネス
- 2) パチンコ・パチスロ機の企画開発、販売

連結子会社

(株)円谷プロダクションなど 計16社

従業員数

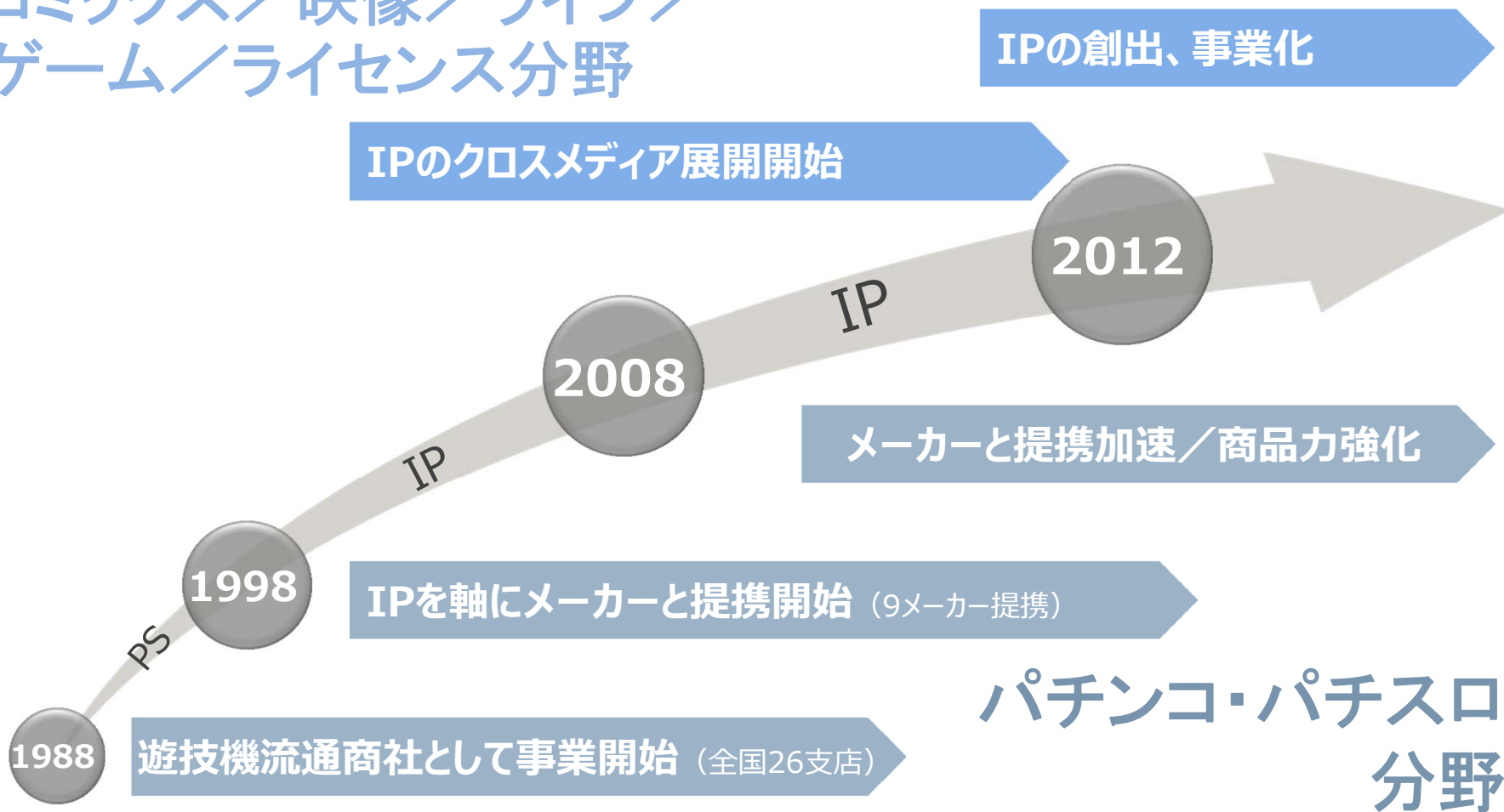
1,845名（連結）

株主数

6,162名

1998年以降、IPを中核にクロスメディア戦略を推進

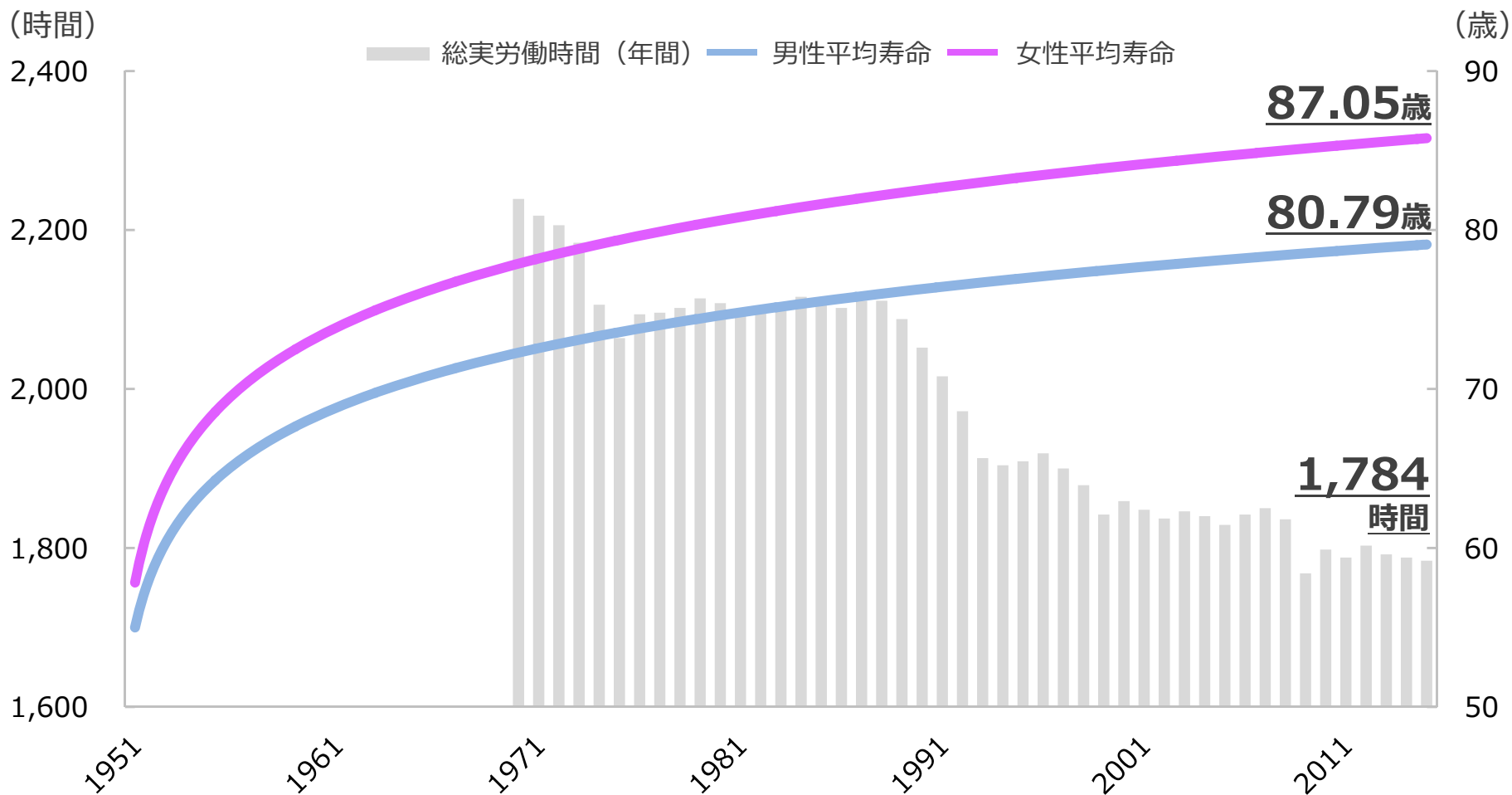
コミックス／映像／ライブ／
ゲーム／ライセンス分野



パチンコ・パチスロ
分野

なぜ、IPを主軸とした事業を 推進するのか？

平均寿命の延伸・労働時間の減少などで、余暇時間は拡大

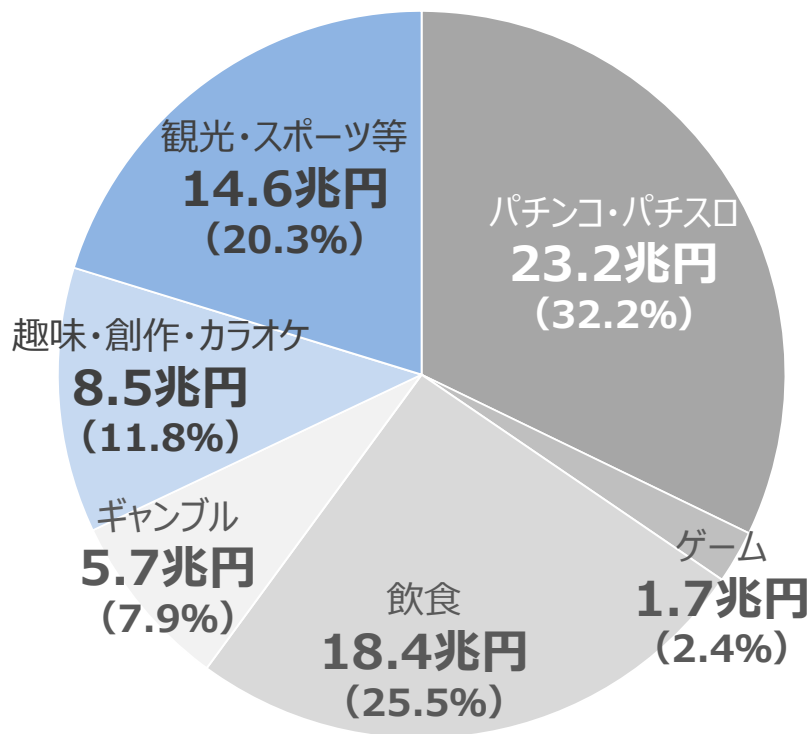


(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」、「平成27年簡易生命表」

国内余暇市場は72兆円、キャラクター市場は2兆円

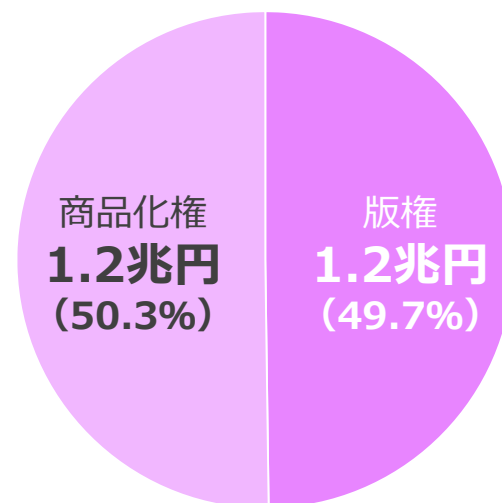
2015年 国内余暇市場

72.2兆円



2015年 キャラクター市場

2.4兆円



(ご参考)

- ・ 著作権市場：著作権・キャラクター使用権等の合計。
- ・ 商品化権市場：キャラクターを使用した玩具／文具／食品／衣料品等の小売金額の合計。ゲーム、遊技機等は含まず。

(出所) 社会生産性本部「レジャー白書」/ 矢野経済研究所「キャラクタービジネスに関する調査結果」

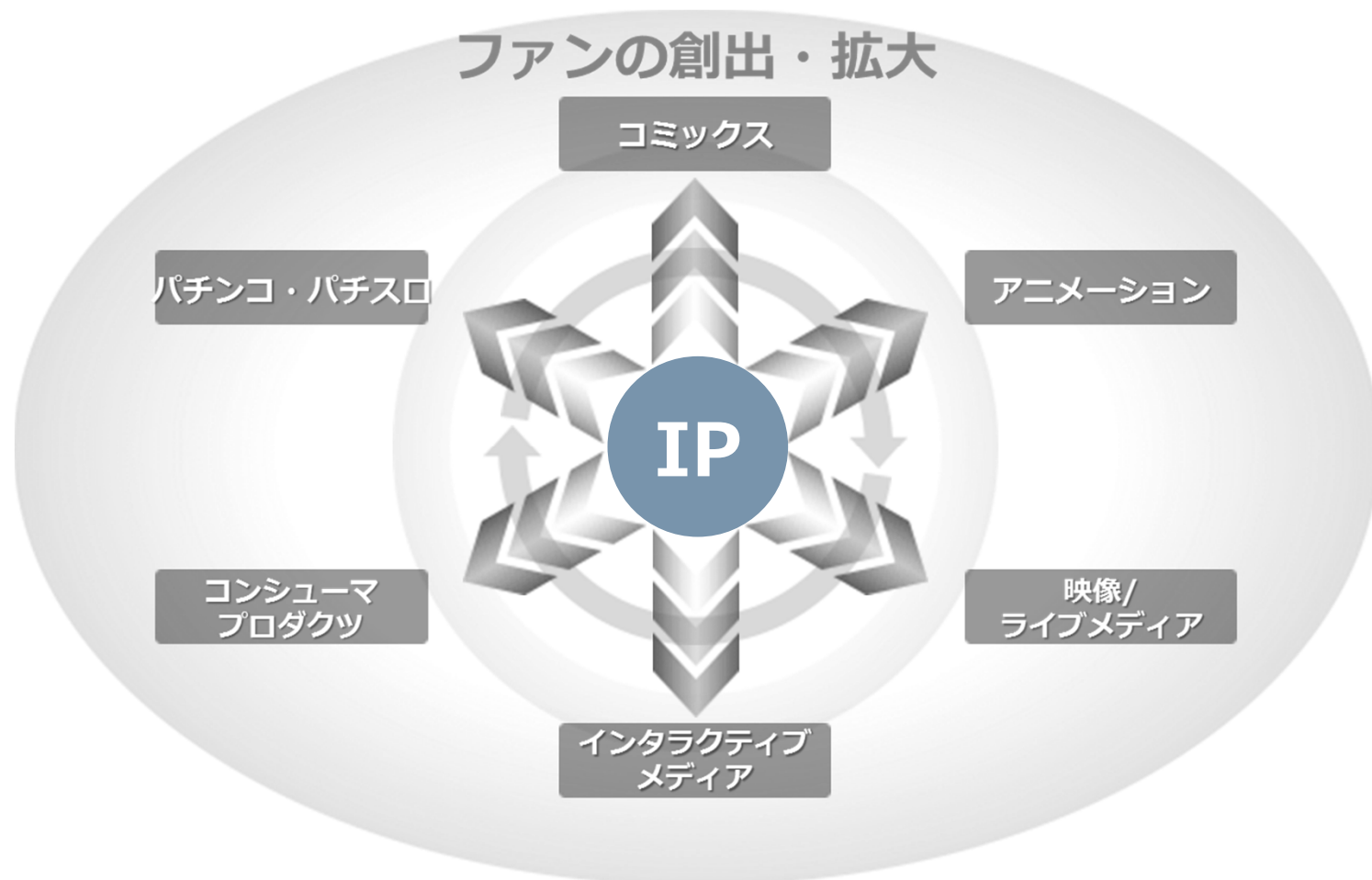
2050年までに海外人口は20億人増、GDPは約5倍へ



(出所) 2013年の数値は総務省統計局「世界の統計」より引用
2050年の世界人口/GDPはアジア開発銀行資料より、日本人口は総務省統計局「世界の統計」より、日本GDPはHSBC予測値より引用

当社の成長戦略（1）

メジャーなIPを獲得し、クロスメディア展開を推進
IPのファン創出・拡大を図る



当社の成長戦略 (2)

メジャーなIPを軸にグローバル展開を推進
世界のキャラクタービジネスの中心的存在を目指す

コミックス／映像／グッズなど



ウルトラマンシリーズなど複数IPでグローバル展開が加速

主なIP	グローバル展開内容	国・地域 ※括弧内はパートナー
■ ウルトラマンシリーズ	映像配信	グローバル（クランチロール） 中国（テンセントなど）
	番販、ライセンスなど	中国、東南アジア
	ライブショー	中国、香港、タイ、マレーシア、ブルネイ、インドネシア
■ 月刊ヒーローズ（21タイトル）	電子書籍配信	中国（チャイナモバイル／童石）
	銀河機攻隊マジスティックプリンス テレビ放送	香港（J2）
	ソウルリヴァイヴァー ハリウッド映画化企画	米国（BEDFORD FALLS）
■ ベルセルク	映画上映、映画祭出品	米国、カナダ
	映像配信	グローバル（クランチロール）
■ GANTZ:O	映画祭出品	イタリア（ヴェネチア国際映画祭）
■ アクティブレイド-機動強襲室第八係-	映像配信	グローバル（クランチロール）
■ ソウル・オブ・セブンス	ゲームライセンス	インド

2010年ウルトラマンシリーズを保有する円谷プロを子会社化

ウルトラマン



ウルトラマンシリーズの歴史

2010年以降、新テレビシリーズ開始／アジア展開加速

1966 昭和シリーズ開始

ウルトラマン
ウルトラセブン ヒット

ウルトラマン80以降
テレビシリーズ休止

1996 平成シリーズ開始

16年ぶりテレビ
シリーズ再開

高額な製作費により
制作ペースが鈍化

2010 当社子会社化

新テレビシリーズ開始
アジア展開加速

ウルトラマン セブン ジャック エース 80 ティガ ダイナ コスモス ネクサス ゼロ ギンガ／ビクトリー



タロウ



レオ



ガイア



マックス



メビウス



エックス

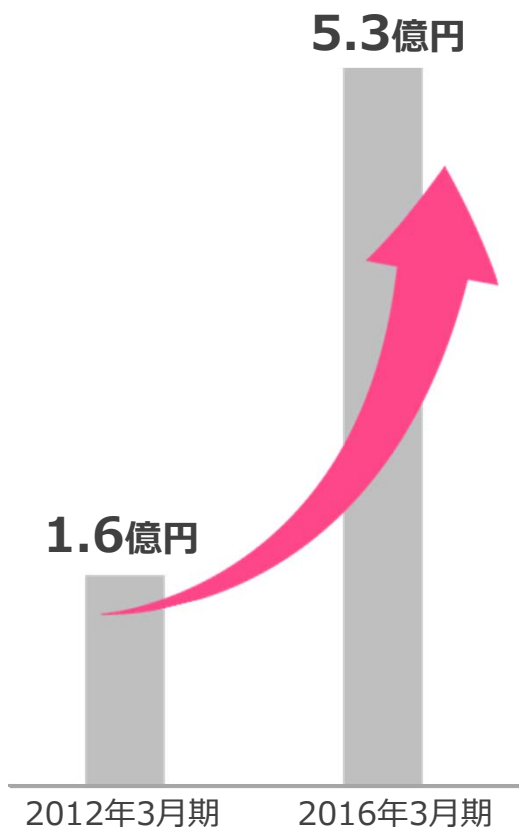


オーブ



映像・ライセンス・商品展開など活性化

■ 円谷プロダクション 営業利益



2012～ 新テレビシリーズ放送開始

- 2012年より新テレビシリーズを継続展開
- 2016年より放送枠を土曜9時へ変更



2013～ 国内マーケティング強化

- 広告、ソーシャルゲーム、遊技機展開拡大
- 新たなヒーローライブエンタテインメント開始



2014～ 東南アジアへ展開加速

- 映像配信、ライセンス、商品展開が活性化
- 東南アジア、中国で継続的にライブショー実施



2016～ 多キャラクター海外展開

- ウルトラマンをフックに円谷プロが保有するキャラクターの展開企画進行中

AKB48の当社展開実績

2011年にゲーム化権、商品化権を取得 カフェ、ゲームを中心にクロスメディア展開を推進



コミック

月刊ヒーローズ連載 (2014年4月～2016年1月)



テレビ

テレビ東京・テレビ大阪ほか放送 (2014年4月～7月)

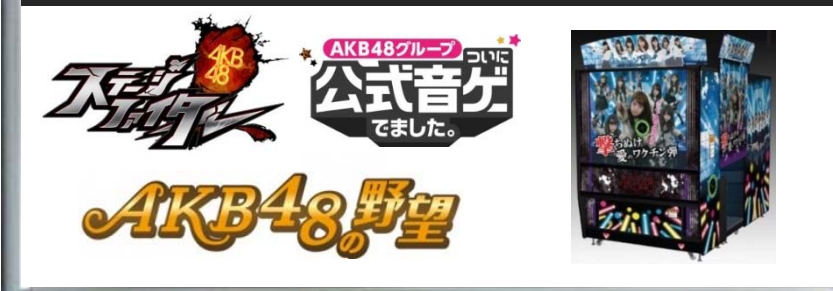
カフェ&ショップ

3店舗運営、累計来店 約**450**万人 (2016年5月時点)



ゲーム

ソーシャルゲーム累計登録 約**859**万人 (2016年3月時点)



月刊ヒーローズの作品及び展開例

2011年に「月刊ヒーローズ」創刊、セブン-イレブンで販売
コミックから、テレビ／映画／遊技機など多メディア展開進行中



ULTRAMAN

- 等身大ウルトラマンの活躍を描く
- 単行本1～8巻累計 **220万部**突破



仮面ライダークウガ

- 平成仮面ライダーシリーズ第一弾
- 単行本1～4巻累計 **40万部**突破



Infini-T Force (タツノコ作品)

- タツノコヒーロー集結
- アニメ化決定



アトム ザ・ビギニング

- 鉄腕アトム誕生までのストーリー
- アニメ化決定

1. 知的財産 (IP) による成長戦略

IPの展開例：パチンコ・パチスロ

パチンコ・パチスロのエンタテインメント化に向け、
1998年以降、取得・創出したIPをパチンコ・パチスロに展開



©カラー ©SANKYO ©Bisty

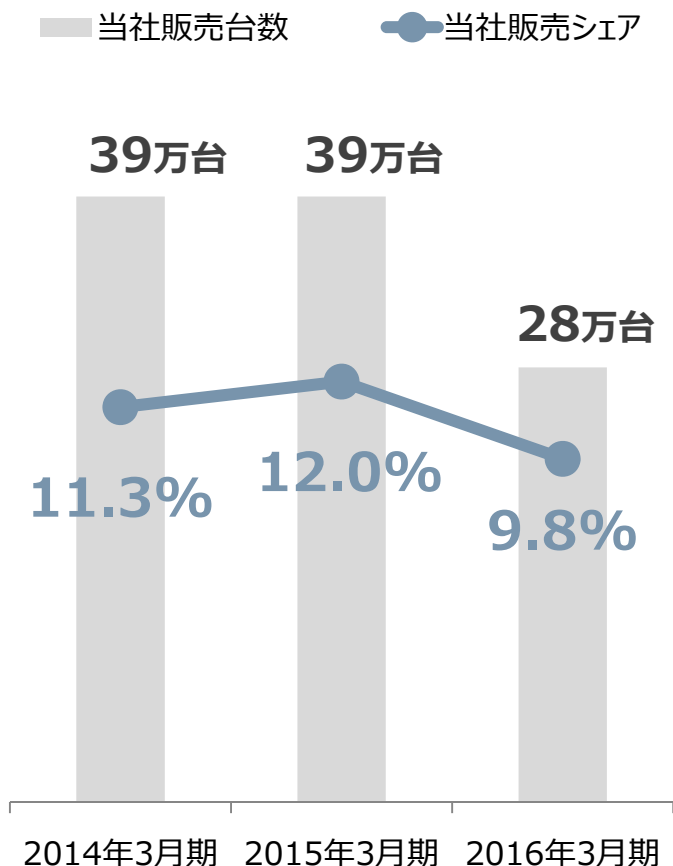
©創通・フィールズ/MJP製作委員会 ©創通/フィールズ
©ヒールズ 製造元/株式会社 大一商会

黒澤プロダクション ©三船プロダクション ©BP/PC ©FIELDS

©本宮ひろ志/集英社/FIELDS ©Sammy
©RODOE

当社販売実績

IPを活用した商品展開で、販売シェア約10%へ



エヴァンゲリオンシリーズ

- 2004年12月より継続販売
- 累計20タイトル／217万台



ウルトラマンシリーズ

- 2013年12月より継続販売
- 累計4タイトル／10万台



コミック／アニメシリーズ

- サラリーマン金太郎、ガンダムなど
- 累計57タイトル／108万台

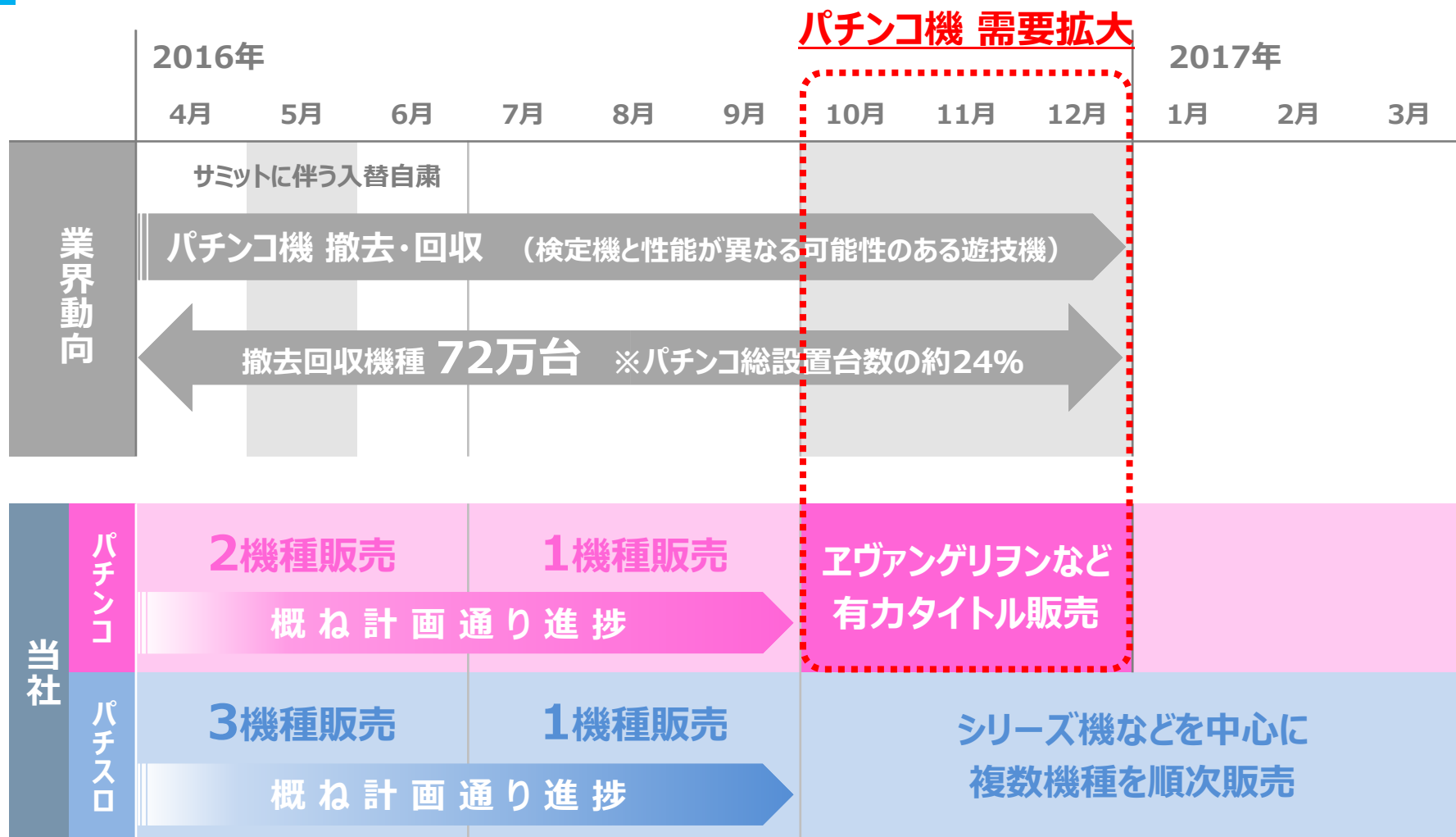


ゲームシリーズ

- カプコン社／バンダイナムコ社著作権など
- 累計33タイトル／89万台

直近の業界動向と、当社の販売見通し

規制等により、2016年12月までにパチンコ機72万台撤去・回収、
当期内では第3四半期がパチンコ機最大の需要期





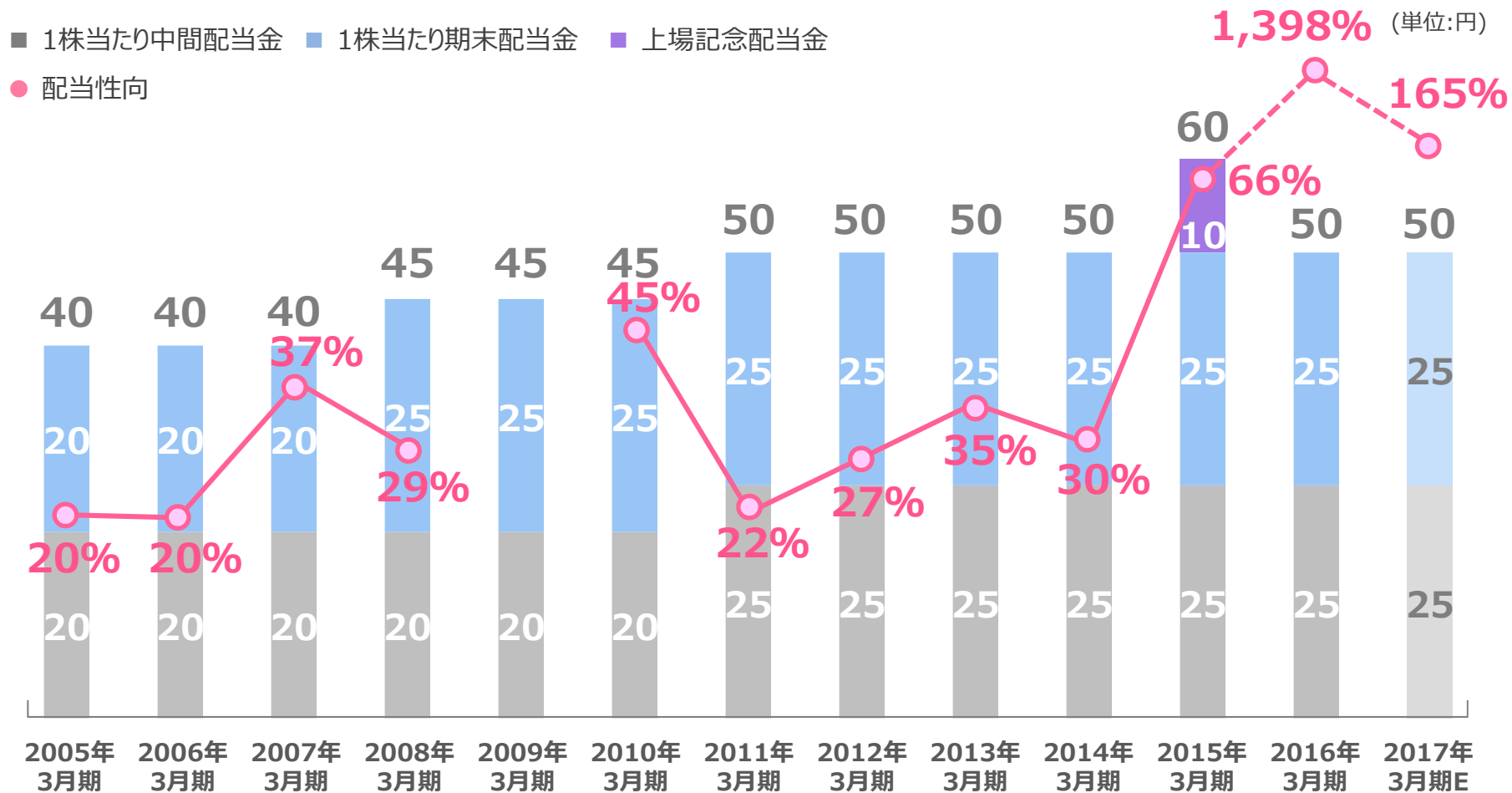
2. 業績推移

前期／今期はパチンコ・パチスロ規制等（健全化）の影響を受ける なお、今期は収益化に向けた商品群が下半期に集中

(単位:億円)

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期		
	通期	通期	1Q	通期計画	前期増減率
売上高	995	944	152	1,150	+ 21.7%
売上総利益	284	254	24		
販管費	237	240	54		
営業利益	47	14	△29	20	+ 41.7%
経常利益	54	13	△32	20	+ 44.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	30	1	△23	10	+ 742.7%

連結配当性向基準20%以上、安定性を重視





3. さいごに

企業理念「すべての人に最高の余暇を」の実現に向けて

私たちフィールズは、

「すべての人に最高の余暇を」という企業理念の実現に向けて、

世の中の人々の心を豊かにする商品やサービスの提供に努めてまいります。

事業活動を通じた **企業の社会的責任（CSR）** を果たし、

社会のさらなる成長と発展に貢献してまいります。

2011年 東日本大震災被災地支援に向け「ウルトラマン基金」を設立 これまでに1万人以上の子どもたちと触れ合う

2011年
～
2014年

東日本大震災被災地への支援訪問活動

宮城県：石巻市、南三陸町、気仙沼市、東松島市、女川町
福島県：須賀川市、郡山市、いわき市、福島市、富岡町
岩手県：宮古市、大槌町、千葉県：旭市

『ヒーローキャラバン～子供たちの心に光を～78 places in 東北』

79か所の保育園や幼稚園への訪問を実施。

『東日本大震災復興チャリティーイベント元気祭り2014』

アントニオ猪木氏とのコラボレーションにより開催。

寄付金等の贈呈

東北3県に寄付金贈呈、自治体にマイクロバス寄贈

2015年

活動範囲を、被災地を含む全国の 「支援を必要としている子どもたち」へと拡大

『東北キャラバン2015』

東北地方の保育施設、こども病院など訪問。

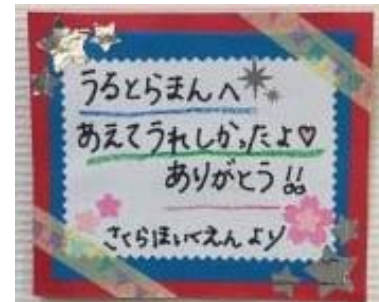
『関東・東北豪雨災害 茨城県支援』

茨城県内の保育園(所)や幼稚園及び児童養護施設、市役所への訪問を実施。

2016年

『平成28年熊本地震災害 熊本県支援』

熊本県内の小学校、保育園(所)や幼稚園、避難施設、県庁、市役所、村役場への訪問を実施。





【 お問い合わせ先 】
コーポレートコミュニケーション室
TEL : 03-5784-2109
E-mail : ir@fields.biz

本資料に記載の商品名・キャラクター名などは、各社の商標または登録商標です。